

—名古屋工業大学グローバル共生情報研究センター協賛—

グローバル化した世界における East-West Studies

片平会創立50周年記念大会シンポジウム

2014年8月3日(日)
10:15~12:30

名古屋工業大学6号館11階
電気情報大会議室

聴講自由・申し込み不要

グローバル社会となった今、学術研究もまた、グローバルな視点にたった方法が世界的に展開されている。これまで、様々な領域で、西洋の理論や知や文学作品が盲目的に受容されてきたが、グローバル社会の今、それを見直して西洋と東洋の知を対等に扱い、西洋知受容の社会的・学術的变化を研究するEast-West Studies が世界的に盛んになりつつある。本シンポジウムでは、Journal of East-West Thoughts: Japan Issues でSpecial Editorを務められた長崎大学 鈴木章能教授を司会に迎え、文学・思想、言語学、英語教育の超領域から、East-West Studies、あるいは、その基盤となる比較研究に関する発表を通して、新たな知の地平を見据えたいと思います。

「East-West Studies—文学・思想、言語学、英語教育」

司会・講師：鈴木 章能(長崎大学)

「East-West Studiesのいま」

10:15

1. 各講師紹介・司会者からのシンポジウム提案

講師：永井 正司(名古屋工業大学)

「日本語・英語・中国語の示差的表現とその背景」

10:20

2. 各講師からの発表(20分×5)

講師：由手口 幸恵(大阪産業大学)

「日本語的発想と英語的発想 ～翻訳を中心に～」

12:00

休憩10分

講師：桑村 テレサ(甲南女子大学)

「日本の英語教育理論の受容と変容」

12:10

3. フロアとのディスカッション(20分)

講師：石川 隆直(元日本外国語専門学校)

「東洋思想と西洋思想における人間の『精神的生命』—枢軸転換期から現代まで」

問い合わせ先

名古屋工業大学
永井 正司 (nagai@nitech.ac.jp)